

水瓶座ラグナ

| | | | |
|----------------------|----------------|-------|--------------------------|
| 敏感な中立 マラカ | トリシャダ ウパチャヤ | ケンドラ | トリコーナ |
| Asc トリコーナ ケンドラ | 水瓶座ラグナ | | ドウシュタナ トリシャダ ウパチャヤ |
| トウシュタナ 敏感な中立 | | | ケンドラ マラカ |
| トリシャダ ウパチャヤ | ケンドラ ウパチャヤ | トリコーナ | ドウシュタナ 敏感な中立 |

| | |
|-------|--|
| 機能的吉星 | 金星 |
| 機能的凶星 | 月、火星、木星 |
| 中立 | |
| マラカ | 木星、月、火星 |
| 備考 | 金星が一番よい 水星と土星は8室や12室を支配しているから か吉星に分類されていない |

水瓶座はラグナロードが同時に12室を支配する為、現実離れして神秘的な人々です。土星がムーラトリコーナとなる星座であり、土星は組織化する惑星のため、物事に秩序をつくったり、組織してルール化したり、形をつくる才能があります。

17世紀からイギリス、ロンドンから広がった国際金融ネットワークは、この水瓶座の象意の人々によって推進されました。

彼らは大衆から自分たちの存在を隠して、地味に目立たないように活動を続けて来たのであり、舞台の背後から資本主義社会や政治体制にさえも影響を与えて来ましたが、それはラグナロードが同時に12室を支配していると考えれば納得できます。

富と収入を表わす2室と11室はいずれも木星が支配星となりますが、木星は富の表示体であり、2室と11室のカラカ（表示体）はいずれも木星です。

従って、水瓶座において木星の恩恵は、富、収入という形で表現されます。

これは現代社会における最大の勝者が銀行であり、銀行家であることを考えれば分かります。

彼らが信用創造によって無からお金を作り出しており、一人勝ちのゲームをしているのが現代社会です。

消費者も企業も銀行からお金を借りてお金を返済しますが、彼らのビジネスは人が銀行から借金をすればするほど繁盛するというものです。

ここに彼らの作ったシステムの最大の罪があり、地球上で借金をする人がいないとマネーが市場に供給されない仕組みをつくったのです。

極端な言い方をすれば、世界は人々が銀行から借金をして奴隷のように返済していく奴隷牧場と化したのです。

おそらくこのことを説明するのが11室を支配する木星なのであり、11室は最も強力なトリシャダハウスであり、貪欲、貪りのハウスです。

従って、国際銀行家が構築した現在の資本主義社会の仕組みが霊的でないのは、そのような理由からかもしれません。

また、銀行システムをつくったのが水瓶座であると同時にフリーメーソンの儀式をつくりあげたのも水瓶座です。

水瓶座から見ると5室が双子座となり、抽象的な思考に優れ、彼らが実際の実物の価値を株式や債券などの証券という形に抽象化し、実物の価値からマネーという抽象的な媒介物を切り離すという離れ技を成し遂げました。

そして、今では複雑なオプション取引や金融商品を生み出して、抽象的なマネー経済を膨らませました。

フリーメーソンの抽象的な象徴体系（カバラー、生命の樹もその一部か？）というのは双子座でつくられており、ちょうどこれは水瓶座から見た5室（知識）に該当します。

フリーメーソンと国際銀行家が一緒に語られるのはその為です。

然し、その水瓶座にも苦手な分野があり、東証がコンピューターのトラブルで市場取引が出来なくなってしまった過去の事件にも見られるように水瓶座からみて8室を支配する水星は同時に依存し、頼らざるを得ない相手です。

銀行家は今ではシステムエンジニア（乙女座）に依存しなければ彼らのビジネスをどうすることもできません。

水瓶座はシステム管理者、アドミニストレーターとして、現代ではあらゆる組織の構築、運用者として地味な立場で、我々の大衆社会を管理しています。

水瓶座からみて、蟹座（大衆）が6室であるというのはそうした意味です。